



神戸市外国語大学 (兵庫県)

ていねいな指導と学びに適した環境で日本、神戸を体験しよう

■大学紹介



① 大学の特色及び概要

神戸市外国語大学は、1946年に前身となる神戸市立外事専門学校として開学し、1949年に現在の神戸市外国語大学となりました。公立大学として、文化・教育の面で、地域社会・産業の発展に貢献するため、外国の言語の習得を通して、その言語が使用されている地域の文化・政治・社会・法律・経済などの幅広い視野から研究することを理念としてきました。

本学は、英米学科、ロシア学科、中国学科、イスパニア学科、国際関係学科の5学科を擁する単科大学ですが、所属学科に関わらず履修できる共通科目では、日本語や日本文化を客観的に分析・研究する科目を含む、さまざまな授業を提供しています。さらに、日本語・日本文化に関するより高度な知識の取得を希望する学生は、再留学し本学大学院で研究を継続することが可能です。

学生数：2192人（2024年5月1日時点）

※うち大学院生：106人

教員数：80人（2024年7月1日時点）



② 国際交流の実績（2024年5月1日現在）

17カ国48大学・機関との交流協定締結による教員交換、学生の派遣・受入や、13カ国17大学・機関との学術研究交流、各種国際交流活動の支援などを実施しています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2024年度：留学生85人、日研生2人

2023年：留学生数97人、日研生1人

2022年：留学生数93人、日研生2人

※うち交換留学生は毎学期25人程度在籍しています。

④ 地域の特徴

神戸は、美しい海と山に囲まれた自然が豊かな地域で、人口は約150万人と日本でも有数の大都市です。古くから港町として発展してきたため外国人住民が多く、外国人コミュニティの活動も活発で国際色豊かな都市として知られています。その一方で、日本を代表する日本酒の蔵元が点在していたり、日本三古湯のひとつである有馬温泉があるなど、日本の伝統も息づくまちです。

また、神戸がある関西地域は交通の便がよく、数多くの歴史的名所が存在する日本の古都である京都や奈良、関西の商業の中心を担う大阪などへも日帰りで行けることができます。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

日研生は、日本語プログラムで海外大学からの交換留学生と一緒に学びます。

☆学生一人ひとりの能力をのばすきめ細やかな指導☆

ブレイスメントテストと個人面談により、学生の日本語能力に応じた履修指導をします。教員との距離も近く気軽に質問できる環境です。



☆日本事情の授業☆

週1回の日本事情の授業では、日本社会や文化などについて学びます。また、自分の国や自分の国の文化・言語等について日本語を使って紹介する時間も設けられています。

☆フィールドトリップ☆

1学期につき、2回程度開催します。近年は鳥取砂丘や岡山城を訪れたり、お寺で写経や生け花の体験をしたり、精進料理を食べたりしました。

☆日本人学生による生活サポート☆

学生1人につき、2~3人の神戸市外国語大学の学生がパートナーとなり日常生活のサポートを行います。

③ 受入定員 3名（大使館推薦3名、大学推薦0名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- 海外の正規学部生であること。
- 英語能力がCEFR B1, IELTS 4.5, TOEFL iBT 60 と同等以上であること。
- 日本語既習歴が、おおむね500時間以上であること。日本語能力が中級程度（日本語能力試験N3合格レベル）以上であり、N2あるいはN1を目指すレベルであること。
- 学習に意欲的で、日本語・日本文化への強い関心があること。

⑤ 達成目標

- 日研生は主に中級後期/上級のコースに入り、JLPT N2あるいはN1合格に相当する日本語能力を習得すること
- 日本社会や文化への知識や理解を深めること

⑥ 研修期間

2025年9月19日 ~ 2026年8月上旬
(在籍期間 2025年9月1日 ~ 2026年8月31日)

※2025年9月4日(木)が住居入居指定日です。
※修了式は2026年8月上旬を予定しています。

⑦ 奨学金支給期間

2025年9月 ~ 2026年8月



⑧ 研修・年間スケジュール（近年実施例）

【秋学期】

- 9月上旬：来日、住居入居
- 9月中旬：オリエンテーション、秋学期開講式
- 10月： 留学生歓迎会（秋）
フィールドトリップ（岡山県）
- 11月： 学園祭、語劇祭
- 12月： フィールドトリップ（生け花・精進料理）
交流イベント（京都・茶道体験）
- 2月： 期末テスト、秋学期修了式



【春学期】

- 4月： 春学期開講式
留学生歓迎会（春）
- 5月： フィールドトリップ（鳥取県）
- 6月： フィールドトリップ（写経・精進料理）
- 7月： 交流イベント（京都・和菓子作り）
期末テスト（日本語プログラム）
- 8月上旬： 春学期修了式
期末テスト（学部授業）
- 8月下旬： 帰国



⑨ コースの修了要件

履修登録をした日本語プログラム科目に合格すること。
(少なくとも16コマ480時間の履修が必要)
※成績証明書は修了後本人に送付します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

- 日本語プログラムの授業は、秋学期（9～2月）、春学期（4～8月）です。
- 来日後にプレースメントテストと個人面談を行い、日本語レベルに応じた履修指導をします。
- 授業は90分で、1学期につき15週あります。
*授業時間数は、1コマ2時間（予習・復習の30分を含む）で計算し、1コマ合計30時間を1学期につき学習します。1コマ=1単位。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

- ☆日本語：6コマ/学期
※日本語を集中的に学習する科目
※「聴解」、「読解」、「会話」、
「作文(上級コースはレポート作成のクラスを含む場合がある)」、「文法」(2コマ)のクラス
- ☆日本語漢字：1コマ/学期
- ☆日本事情：1コマ/学期

II) 選択科目

- ☆ビジネス日本語：1コマ/学期

※このほか、学部の授業を履修することも可能です。

3) 見学、地域交流等の参加型科目

日本の文化・歴史についての理解を深めるため、フィールドトリップを学期に数回実施しています。防災・健康管理オリエンテーションでは、1995年の阪神・淡路大震災の資料館を訪問します。



4) 日本人学生との共修の機会

海外大学からの留学生は、日本語のクラスに加えて、学部授業も学部生と一緒に受講することができます。(使用言語は主に日本語となるため、上級レベルの日本語能力が必要です。)

授業の内容は、諸地域の言語、言語学、文学、文化、歴史学、法学、商業、経済学、教育、心理学など幅広い分野に渡ります。

【過去の日研生の履修科目】

- ・ 日本文化論
- ・ 社会心理学入門
- ・ 通訳演習
- ・ 倫理学入門 など



希望する学生は、クラブ活動などに参加することもできます。本学学生と一緒に武道や茶道などを学んだり、クラブの先輩から教えてもらったりすることができます。(校内に茶室、弓道場、武道場の施設があります。)

5) その他

■ 「GAIDAI Chat」

留学生の母国語でおしゃべりをして交流を深める場です。各国の文化や生活様式、音楽やスポーツなど、気軽に意見交換ができます。



■ さまざまな講演会に参加可能

学内で開催される、本学客員教授や外部講師による講演会に無料で参加できます。

⑪ 指導体制

- ・ 岩男考哲
(教授、国際交流センター副センター長、日本事情担当、専門：日本語学)
- ・ 勝田千絵、山口貴史
(日本語講師、日本語プログラムコーディネーター)
- ・ 日本語非常勤講師3名



■ 宿 舎

初期費用： 60,000円

家 賃： 300,000円/学期

※学期初めに360,000円を払います。ただし、必要に応じて、分割払いができます。

宿舎は、2種類あります。

どちらも家具・キッチン・インターネットつきの1人部屋です。アパートは、大学から歩いて15分、またはバスで10分のところにあります。



■ 修了生へのフォローアップ

- ・ これまでに本学で学んだ修了生の中には、母国の企業で日本語の通訳者として活躍している人もいます。また、帰国後に再来日し神戸市外国語大学大学院への進学を希望している学生もいます。
- ・ 神戸市外国語大学への再留学を希望する学生は、必要に応じて支援します。



■ 問合せ先



<担当部署>

神戸市外国語大学国際交流センター

住所： 〒651-2187

兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

TEL： +81-78-794-8171 (直通)

FAX： +81-78-794-8178

Email： international-office@office.kobe-cufs.ac.jp

<ウェブサイト (日本語) >

神戸市外国語大学：

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/>

国際交流センター：

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/center/>

日本語プログラム (JLP)：

https://www.kobe-cufs.ac.jp/international/japanese_language_program.html